

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 古典空間
公演団体名	邦楽囃子方集団 若獅子会

内容
① 演奏と楽器の解説 → 「四拍子(しびょうし)」と言われる「太鼓」「大鼓」「小鼓」「笛」4種類の楽器を分り易く楽しく解説
② 譜面を読んでみよう → 音楽の授業で習う「5線譜」とは全く違う、日本独自の伝統的な譜面を読んでもらう
③ 全員でかけ声体験 → 演奏中に発する大迫力の「かけ声」。日本の音楽における演奏とかけ声の切っても切れない関係を体感して頂く
④ 邦楽囃子のみによる「囃子組曲」！演奏コーナー → これまでの説明と体験を踏まえて、実際の演奏を聴いて頂く
⑤ 本番に向けてのお稽古 → 出演者と共演して頂く発表コーナー(締太鼓)の演奏をお稽古

タイムスケジュール (標準)
12:00 会場入り ～会場下見、準備、打合せ
13:30 ワークショップ開始(前半)
14:30 休憩
14:40 ワークショップ開始(後半)
15:40 終了 ～撤収、本公演打合せ
16:30 退出

派遣者数
6名

学校における事前指導

当方にて邦楽囃子に関する簡単な説明資料(A4・1枚)を作成、各学校へお送りし、先生方より児童・生徒の皆さまに向けて説明を行なっていただく。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 古典空間
公演団体名	邦楽囃子方集団 若獅子会

演目
①「邦楽囃子を聴いてみよう！」 ★カッコイイ！日本の打楽器、かけ声、そして笛 『一番太鼓』『着到』『若獅子三番叟』ほか
②「邦楽囃子って？ その一」 ★日本の〈打楽器& 笛〉今日からキミも“お囃子博士！” … 楽器解説
③「邦楽囃子って？ その二」 ★邦楽囃子の得意ワザ！ 打って吹けば“絵が見える！” … 情景描写 ★お囃子が描く日本の昔話！ 登場人物の表情がイキイキと！ …心情描写
④「ワークショップ体験発表コーナー ★締太鼓メドレー！ がんばった友だちを応援しよう！
⑤「みんなでチャレンジ！」 ★お囃子マスターになれる魔法の言葉！ …「唱歌」体験 (児童・生徒全員体験) ★空気を変える！これができるとカッコイイ！ …「かけ声」体験 ⑥ 「ここだけの！ …邦楽囃子のみによる〈囃子組曲〉」 ★日本の〈打楽器& 笛〉スーパーセッション！ 『 勸進帳』『鏡獅子』ほか

派遣者数
17名(出演者10名、スタッフ7名)

タイムスケジュール(標準)	
9:30～11:40 搬入・仕込み	(130分)
11:40～12:00 ワークショップ(参加する児童・生徒)のリハーサル (※11:00～教室でのおさらい)	(20分)
12:00～12:30 出演者リハーサル	(30分)
12:30～13:20 昼休み・開演準備	(50分)
13:20～14:40 本番	(80分)
14:40～15:30 終演～撤去・退出	(50分)

実施校への協力依頼人員
特になし

演目解説

①「邦楽囃子を聴いてみよう！」 『一番太鼓』『着』到』『若獅子三番叟』など

・邦楽囃子は、音楽のリズム部門を担当するだけではなく、歌舞伎などのお芝居で、役者の心情や情景を表現するなど大切な役割を受け持っています。

公演の始まりを告げる演奏『一番太鼓』。威勢よく打つその音は「(お客さま)ドンドンドント来い！」と聞こえるような縁起を担ぐ意味も含まれています。

②「邦楽囃子って？ その一」

・「四拍子」と言われ、能のお囃子より派生し、歌舞伎を支える三味線音楽と共に発展してきた邦楽囃子。そんなお囃子チームを構成する「小鼓」「大鼓」「太鼓」「笛」4種類の楽器の「どんな歴史？何からできている？どうやって音を出す？」など、わかり易く楽しく解説します。

③「邦楽囃子って？ その二」

・お囃子で風景や季節などさまざまな情景を演奏で表現！スクリーンと連動させながら展開します。さらに紙芝居とお囃子のコラボレーション！登場人物の心を描き出します。邦楽囃子の魅力を体感するコーナーです。

④「ワークショップ体験発表コーナー」

・「四拍子」の中でも、“打てば響く”太鼓！事前に実施したワークショップでお稽古をした児童・生徒の皆さんが、歌舞伎や邦楽演奏会の一線で活躍する先生たちと競演を果たします。

⑤「みんなでチャレンジ！」（児童・生徒全員体験）

・日本の楽器を習得する上で欠かせないのが「唱歌」。鼓は「ポンポンスポポン」笛は「ヲヒャーラーイヒウヤー」・・・唱歌が言えれば、楽器がなくてもお稽古ができたり、楽譜がなくても曲を覚えたりできるスーパーシステムなのです！児童・生徒の皆さん全員に、長年受け継がれてきた口伝を体験していただきます。

⑥「ここだけの！・・・邦楽囃子のみによる「囃子組曲」『勸進帳』『鏡獅子』ほか

・日本の伝統音楽を代表する名曲『勸進帳』と『鏡獅子』をメドレーで演奏します。普段「唄・三味線」と一緒に演奏される演目ですが今回は特別に囃子のみでの演奏です。ドラムやパーカッションとはまた違った、邦楽囃子のカッコよさを理屈抜きで感じていただけると確信しています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

児童・生徒にとって馴染みやすいと考えられる＜太鼓＞を選択。本番の「体験発表コーナー」では、児童・生徒の太鼓に、プロ演奏家の小鼓、大鼓、笛が参入して、四拍子の一員として共演していただきます。

児童生徒とのふれあい

全員体験にて、邦楽囃子の各楽器のみならず邦楽全般の稽古に必須の「唱歌」、そして、各楽器の演奏を支える「かけ声」の体験をしていただき、日本の伝統音楽における伝承と構造の一端をお伝えします。とくに「唱歌」においては、児童・生徒の唱歌に、実際に邦楽囃子の演奏をかぶせるなど、唱歌の意味と価値を体感できます。